

令和4年度 事 業 報 告 書



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高知県支部

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

令和4年度 事業報告書(目次)

1. 災害救護	頁
(1) 救護活動	1
(2) 救護員育成	1
(3) 救護員の登録・編成状況	4
(4) 救護資機材の整備状況	5
(5) 救援物資の整備状況	6
(6) 防災ボランティアの養成状況	7
(7) 防災・減災の取組み	7
(8) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況	10
(9) 臨時救護	11
2. 社会活動(講習普及事業)	
(1) 各講習の活動概要	11
(2) 赤十字救急法等指導員養成講習	11
3. 青少年赤十字事業	
(1) 活動概要	13
(2) 加盟校概要	15
高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ	16
(3) 指導者対象の協議会、研修	17
4. 國際活動	
(1) 國際救援・開発協力事業	18
(2) NHK海外たすけあい	18
5. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	
(1) 地域奉仕団	19
(2) 特殊奉仕団	25
(3) 青年奉仕団	25
6. 赤十字思想の普及・広報活動	
(1) 赤十字月間、イベント	26
(2) DM、広報誌	26
(3) 赤十字思想の普及	26
7. 会員、活動資金	
(1) 会員概要	27
(2) 社資概要	27
(3) 活動資金目標設定会議	27
(4) 日赤市地区・町村分区事務担当者会	28
(5) 企業等とのパートナーシップ	28
(6) 日本赤十字社有功章等受章者及び支部長表彰者	29
(7) 全国赤十字大会	30
8. 役員、評議員	
(1) 評議員会	31
(2) 高知県赤十字有功会	31
(3) アドバイザーミーティング	32
9. 決算概要	
令和4年度 一般会計歳入歳出決算概算書	33
10. 資料	
令和4年度 地区分別活動資金実績	34

令和4年度 事業報告

1. 災害救護

(1) 救護活動

災害の発生に備え、日本赤十字社高知県支部に救護班 6 班、高知赤十字病院にDMA T（災害派遣医療チーム）7 チームを常設し、適切かつ迅速な災害救護活動の実施に向けた取り組みを行った。

令和4年度における災害に対しては、高知県支部からの救護班派遣や、高知県支部に災害対策本部を設置する事例はなかった。

7月の台風4号、9月の台風14号による被害を受けられた方、11世帯12名の方に、毛布12枚、緊急セット1個、バスタオル2枚をお届けし、住家火災によって被災された29世帯62名の方に、毛布63枚、緊急セット34個、バスタオル35枚の災害救援物資をお届けした。

(2) 救護員育成

1) 救護・受援体制の確立

災害救護は日本赤十字社の最も重要な事業であり、南海トラフ地震に向けて救護班活動の充実、強化を目標に、管下施設間及び中国四国ブロック、行政等との研修・訓練に取り組んだ。

2) 主な災害救護訓練、研修会

コロナ禍による影響もある中で、内容等に応じて集合形式、オンライン形式を上手く組み合わせた研修等が増加してきた。

① 本社関係

(ア) こころのケア指導者養成研修会

令和4年11月16日（水）～17日（木）、被災者等に対して実施する「こころのケア」の要員を養成する指導者の養成研修会に、高知赤十字病院から1名が参加した。

(イ) 日赤災害医療コーディネート研修会（指導スタッフ研修会）

令和4年9月10日（土）～11日（日）、日赤災害医療コーディネート研修プログラムの検証を行うとともに、指導方法等の共通認識を図ることで、今後の日赤災害医療コーディネート体制の強化につなげる目的に開催。

高知赤十字病院からコーディネーター（医師）1名が参加した。

(ウ) 日赤災害医療コーディネート研修会

令和5年1月21日（土）～22日（日）、日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に開催。

指導スタッフとして高知赤十字病院からコーディネーター（医師）1名、受講者としてコーディネートスタッフ（看護師）1名が参加した。

② 第5ブロック(中四国)関係

徳島県で開催予定の「第5ブロック災害対策本部要員研修会」は中止となり、「第5ブロック各県支部日赤災害医療訓練」は下記の連絡会議に変更され、集合形式で開催した。

○第5ブロック各県支部日赤災害医療コーディネートチーム連絡会議（広島県）

令和4年11月5日（土）～6日（日）、第5ブロック各県支部における日赤災害医療コーディネートチームが赤十字の使命である災害救護業務に関して、知識と技術の向上及び相互の連携強化を図り、今後の救護活動を効果的に実施できることを目的に開催。

高知赤十字病院からコーディネーター（医師）1名、支部職員1名が参加した。

③ 高知県支部主催関係

感染対策に留意し、集合形式で以下の訓練等を実施した。

(ア) 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練

令和4年10月8日（土）～9日（日）、これまでの救護活動を踏まえ、災害救護業務を迅速かつ適切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的としており、総合あんしんセンター及び高知市城西公園を会場に開催した。座学や実動訓練等に、高知赤十字病院及び高知県赤十字血液センターの医師・看護師等の救護員をはじめ講師・スタッフ、特殊奉仕団（防災奉仕団、バイクサポート奉仕団）等を含め約130名が参加した。

また、3年ぶりに高知市地区赤十字奉仕団員による炊き出し訓練も実施され、参加者は非常食を体験した。



(イ) 救護主事対象赤十字災害救護研修会

令和4年5月11日（水）、救護主事の役割を理解し、十分な知識と技術を持った救護主事の養成を図ることを目的に開催。高知赤十字病院から主事8名、高知県赤十字血液センターから主事2名、看護師1名が参加し、非常時における情報収集及び通信、HUG（避難所運営ゲーム）、dERU（仮設診療所設備）の展開訓練を行った。

④ 国・県・市町村主催関係

(ア) 高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル

令和4年5月28日（土）、四万十市不破（メイン会場）で3年ぶりに開催され、高知赤十字病院からスタッフ2名（医師、看護師長）、救護班7名（医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名）が参加し、大規模地震災害が発生したことを想定のもとdERUを開設し、大井田病院DMAT（災害派遣医療チーム）とともに多数傷病者の受け入れ訓練を実施した。

また、併設されたフェスティバル会場では、幡多地区の赤十字奉仕団16名により炊き出し訓練が行われ、約300食の非常食を来場者に体験いただいた。さらに、安全赤十字奉仕団2名がコロナ禍に対応した心肺蘇生講習を20名の方に実施した。

(イ) 高知市総合防災訓練

令和4年11月13日（日）、南海トラフ地震等の災害に備え、防災関係機関との連携強化及び市民への防災啓発を目的に実施。高知市立南海中学校及びイオンモール高知で防災に係る講習として心肺蘇生講習を中心に安全赤十字奉仕団2名と実施した。

(ウ) 大規模津波総合防災訓練

令和4年11月13日（日）、大規模津波による被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的に実施。支部より事務局長が参観した。

(エ) 高知県保健医療調整本部震災対策訓練

南海トラフ地震発生時における保健医療調整本部の災害対応能力の向上を図るとともに、関係機関との連携や運営方法の検証等を目的に実施。支部から事務局長、職員2名が参観した。

(オ) 高知県災害対策本部事務局等震災対策訓練（図上訓練）

令和4年10月20日（木）、南海トラフ地震発時における災害対策本部事務局等の運営を検証するとともに、関係機関との連携や職員の災害対応能力の向上を図ること等を目的とした訓練であり、支部からは職員1名を県庁にリエゾンとして派遣した想定で参加、支部事務局長が参観した。

(カ) 災害時医療従事者等研修事業（高知DMA T研修）

令和4年11月26日（土）～27日（日）、高知県からの委託で日赤高知県支部が実施主体となり、県内の災害拠点病院、救護病院等及び関係機関の医師、看護師、事務職員等32名を対象に、災害の急性期に災害救急医療活動を適切かつ迅速に実施する医療チーム（災害派遣医療チーム（DMA T）に準じる）を養成する研修を実施した。

(3) 救護員の登録・編成状況

1) 赤十字常備救護班

班名	構成組織	班員 (人)	職種別班員数(人)				
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事
第1班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第2班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第3班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第4班	血液センター・病院	7	1	1	2	1	2
第5班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第6班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
合 計		42	6	6	12	6	12

※その他医療救護に関する指導を目的に特命救護班1名を任命し、医療救護体制の充実を図っています。

2) 災害派遣医療チーム（D M A T）

チーム数：7チーム（医師1名、看護師2名、業務調整員1名を1チームとして算出）

構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)		
		医師	看護師	業務調整員
赤十字病院	32	10	14（うち看護師長5）	8

※その他DMA T隊員（業務調整員）在籍状況：支部 2名、血液センター 1名

(4) 救護資機材の整備状況

1) 支部の主要救護装備

品目	数量	備考
車両	8台	救急車1台、dERU（国内型緊急対応ユニット）1台、災害救援車（赤色灯あり）1台、災害救援車（赤色灯なし）5台
通信環境	災害用電話	4台 高知県防災行政無線1台、衛星携帯電話1台、携帯電話2台
	業務用無線150メガ帯	18局 基地局1局、車載型8局、携帯型9局 <u>※令和4年度、車載機1局を交換</u>
	業務用無線400メガ帯	22局 基地局1局、車載型8局、携帯型13局 <u>※令和4年度、車載機1局を交換</u>
	アマチュア無線局	1局
テント	18張	エアーテント3張、ドラッシュテント1張、その他14張
発電機・投光器	14台	発電機5台、投光器（クリップ式）6台、発電機付大型投光器2台、背負い式投光器1台
担架	32本	担架32本、その他担架台39台
簡易ベッド	38台	
浄水器	1組	
自動ラップ式トイレ	12台	
AED（自動体外式除細動器）	4台	

2) 救護班活動用食料（令和4年度末現在）

品目	数量	備考
災害用備蓄食料 (レスキューフーズ)	192食	①シチュー：60食 ②中華丼：72食 ③牛丼：60食
非常食	200食	アルファ米（五目ご飯）：200食
保存水	894L	①500mL×24本×38箱 ②1.5L×10本×10箱 ③2L×6本×24箱

(5) 救援物資の整備状況

1) 救援物資の備蓄状況（令和4年度末現在）

品目	在庫数	品目	在庫数	
毛布	2,275枚	タオルケット	800枚	
緊急セット	1,128個	バスタオル	448枚	
安眠セット	504個	※令和4年度、バスタオル140枚購入		



【 毛布 】



【 緊急セット 】

2) 県内の災害被災者への救援、支援について

住家火災等によって被災された40世帯74名の方に、毛布75枚、緊急セット35個、バスタオル37枚の災害救援物資をお届けした。

① 地区別救援物資配布状況 [火災等による救援物資の配布]

	世帯数	人数	毛布	緊急セット	タオル	災害区分
高知市	7	15	18	9	5	火災
室戸市	1	4	4	1	0	火災
香南市	1	2	2	1	2	火災
南国市	5	16	16	6	10	火災
須崎市	1	2	2	1	2	土砂崩れ
四万十市	3	4	4	3	3	火災
宿毛市	1	2	2	2	2	火災
東洋町	2	2	2	2	2	火災
田野町	3	3	3	3	3	火災
芸西村	1	5	5	2	0	火災
大豊町	1	2	2	1	2	火災
日高村	3	5	5	3	5	火災
中土佐町	10	10	10	0	0	台風災害
梼原町	1	2	0	1	1	火災
合計	40	74	75	35	37	

② 災害弔慰金の交付

- ・災害等で亡くなられた方のご遺族に弔慰金2件 20,000円をお届けした。
- ・火災2件

(6) 防災ボランティアの養成状況

現在、67名の防災ボランティアが在籍している。防災ボランティアの育成として、協定締結地域において養成した救急法救急員に研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

(7) 防災・減災の取組み

1) 防災セミナー等の開催

災害に備え、自助、共助のための知識を身につけてもらうことを目的に開催しており、感染対策に留意しつつ、令和4年度は日赤地域奉仕団からの依頼により赤十字奉仕団員、社協職員、地域住民を対象に「赤十字防災セミナー」を開催した。

令和4年度 赤十字防災セミナー（DIG）開催状況

開催日	開催地域	主催者	参加者数	支部職員	防災奉仕団
10月16日	高知市	日赤高知市地区大津分区	16名	2	3

令和4年度 赤十字防災セミナー（災害への備え）開催状況

11月18日	津野町	日赤高幡地区	18名	1	2
2月10日	香美市	赤十字奉仕団香美市香南市地区	52名	1	0

また、避難所運営ゲーム（HUG）についても令和4年度から再開している。

令和4年度 HUG（避難所運営ゲーム）開催状況

開催日	開催地域	主催者	参加者数	支部職員	防災奉仕団
10月24日	高知市立青柳中学校	高知市立青柳中学校	87	2	6
3月7-8日	香南市立野市中学校	香南市立野市中学校	179	3	

※野市中学校では香南市防災対策課にご協力いただいた。

2) 高知県内の市町村・社協との協定の締結

平成27年度から、高知県内の市町村・社協と包括的な連携・協力のもと人道的な活動を展開し、市民の安心・安全及び福祉の向上に資するため業務提携に関する協定を締結している。

日赤の知識と技術を取得した人材を地域で養成すること等により、当該人材の地域活動を通じた地域の防災・減災対策の普及や、奉仕団等との連携による迅速な災害救護活動の遂行に向けた積極的な取り組み、救急法等の一次救命処置の実践等により、地域住民の安心・安全のための活動が進むことが期待されている。

① 協定締結先一覧

締結日	協定締結先
H27. 11. 24	安芸市社会福祉協議会
H28. 5. 11	南国市・南国市社会福祉協議会
H29. 2. 17	中土佐町・中土佐町社会福祉協議会
H29. 5. 30	四万十市・四万十市社会福祉協議会
H29. 8. 8	土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会
H30. 10. 23	仁淀川町・仁淀川町社会福祉協議会
H30. 10. 25	室戸市・室戸市社会福祉協議会
H30. 10. 31	馬路村・馬路村社会福祉協議会
H30. 10. 31	北川村・北川村社会福祉協議会
H31. 4. 4	香南市・香南市社会福祉協議会
H31. 4. 26	黒潮町・黒潮町社会福祉協議会
R 2. 10. 2	土佐市・土佐市社会福祉協議会



② 協定締結団体との取り組み

協定締結地域における市町村及び社協職員、地域住民を対象とした救急員等の養成講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかつたが、支部主催の赤十字救急法指導員養成講習に馬路村社協からの推薦のあつた1名が参加、検定に合格され、協定締結地域から新たな赤十字救急法指導員が誕生した。

また、「NPO法人日本防災士会高知」との連携として、防災士会高知からの依頼により救急法講習を開催した。

高知県内の協定締結団体との取り組み

	団体名称（市町村・社協）		協定締結日	令和4年度の取り組み
1	中土佐町	中土佐町社会福祉協議会	H29. 2. 17	中土佐町防災学習会（救急法講習を実施） 11月12日 10時-15時 地域住民 50名
2	土佐市	土佐市社会福祉協議会	R 2. 10. 2	赤十字救急法基礎講習 11月15日 13時-17時30分 社協職員、役場職員等 16名 災害時高齢者生活支援講習 11月22日 10時30分-11時30分 利用者 32名

	団体名称	協定締結日	令和4年度の取り組み
1	NPO法人日本防災士会高知	H28. 6. 1	一次救命処置の講習を実施 12月3日 10時30分-12時

高知県内の協定締結団体における救急員・指導員の現状

	団体名称（市町村・社協）		協定締結日	地域における指導員・救急員養成状況	
1	安芸市社会福祉協議会		H27. 11. 24	指導員	5名
				救急員	13名
2	中土佐町	中土佐町社会福祉協議会	H29. 2. 17	救急員	93名
				幼児安全法支援員	5名
3	四万十市	四万十市社会福祉協議会	H29. 5. 30	指導員	2名
				救急員	34名
4	土佐清水市	土佐清水市社会福祉協議会	H29. 8. 8	救急員	75名
5	馬路村	馬路村社会福祉協議会	H30. 10. 31	指導員 (うち1名は令和4年度資格取得)	6名
				救急員	16名

(8) 国内災害支援金・海外救援金の受付状況

国内災害支援金や海外救援金の発生の都度、支部ホームページに掲載や各地区・分区に通知し、広く県民に広報するとともに協力を受け付けている。

① 【令和4年度 国内災害支援金】

No.	名称	4年度受付		累計受付		受付期間
		件数	金額	累計件数	累計金額	
1	平成30年7月豪雨災害(県外)	0	0	20	994,150	平成30年7月10日から 令和4年6月30日受付終了
2	令和2年7月豪雨災害	0	0	32	10,045,296	令和2年7月7日から 令和4年9月30日受付終了
3	令和4年3月福島県沖地震災害	1	1,015	2	4,965	令和4年3月23日から 令和4年6月30日受付終了
4	令和4年8月3日大雨災害支援金	1	236,000	1	236,000	令和4年8月12日から 令和5年3月31日受付終了
5	令和4年台風15号災害支援金	1	350	1	350	令和4年9月29日から 令和4年12月28日受付終了

② 【令和4年度 海外救援金】

No.	名称	4年度受付		累計件数		受付期間
		件数	金額	累計件数	累計金額	
1	中東人道危機救援金	0	0	3	510,200	平成27年4月1日から 令和6年3月31日まで
2	バングラデシュ南部避難民救援金	0	0	2	510,000	平成29年9月22日から 令和6年3月31日まで
3	アフガニスタン人道危機救援金	1	3,000	1	3,000	令和3年9月22日から 令和6年3月31日まで
4	ウクライナ人道危機救援金	42	1,301,468	74	2,042,421	令和4年3月2日から 令和6年3月31日まで
5	2023年トルコ・シリア地震救援金	31	849,561	31	849,561	令和5年2月9日から 令和5年5月31日まで

(9) 臨時救護

県民の皆様が多数参加される各種行事や大会、護国神社での祭事、マラソン等のイベントに医師、看護師、安全赤十字奉仕団等を派遣し、救護活動を行った。

令和4年度の実績は次のとおり。

日 時	内 容	日 時	内 容
4/ 2 (土)	護国神社春季大祭	5/21 (土) ～ 5/23 (月)	高知県高等学校体育大会 【登山の部】
9/13 (水) ～ 9/16 (土)	国民大会水泳競技会 【飛込】	10/15 (土)	フィリピン戦域戦没者慰靈祭
11/ 2 (水)	護国神社秋季大祭	11/27 (日)	ひだか茂平リレーマラソン
2/19 (日)	高知龍馬マラソン		

○常設医薬品の設置

航空機や空港施設を利用される方などの「もしもに備えて」高知龍馬空港の総合案内に救急箱を設置している。

2. 社会活動(講習普及事業)

(1) 各講習の活動概要

災害や日々の事故に備え、安全で健康な生活を営む方法や尊い人命を救助する知識と技術を普及するため、救急法・水上安全法・雪上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法（養成及び短期講習）や防災講習会を県内各地で実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び受講者、指導員の安全確保の観点から実施要件を定め、感染対策を十分に講じ、赤十字救急法基礎講習については、接触、接近の機会を減らすために訓練用人形を活用するなど感染防止対策を徹底しつつ、これまでの講習内容と大きな差異が生じないよう配慮した「暫定措置」において講習の一部を実施した。また、受講者が限定された職域、団体についても感染状況に留意しつつ、他の養成講習も実施した。

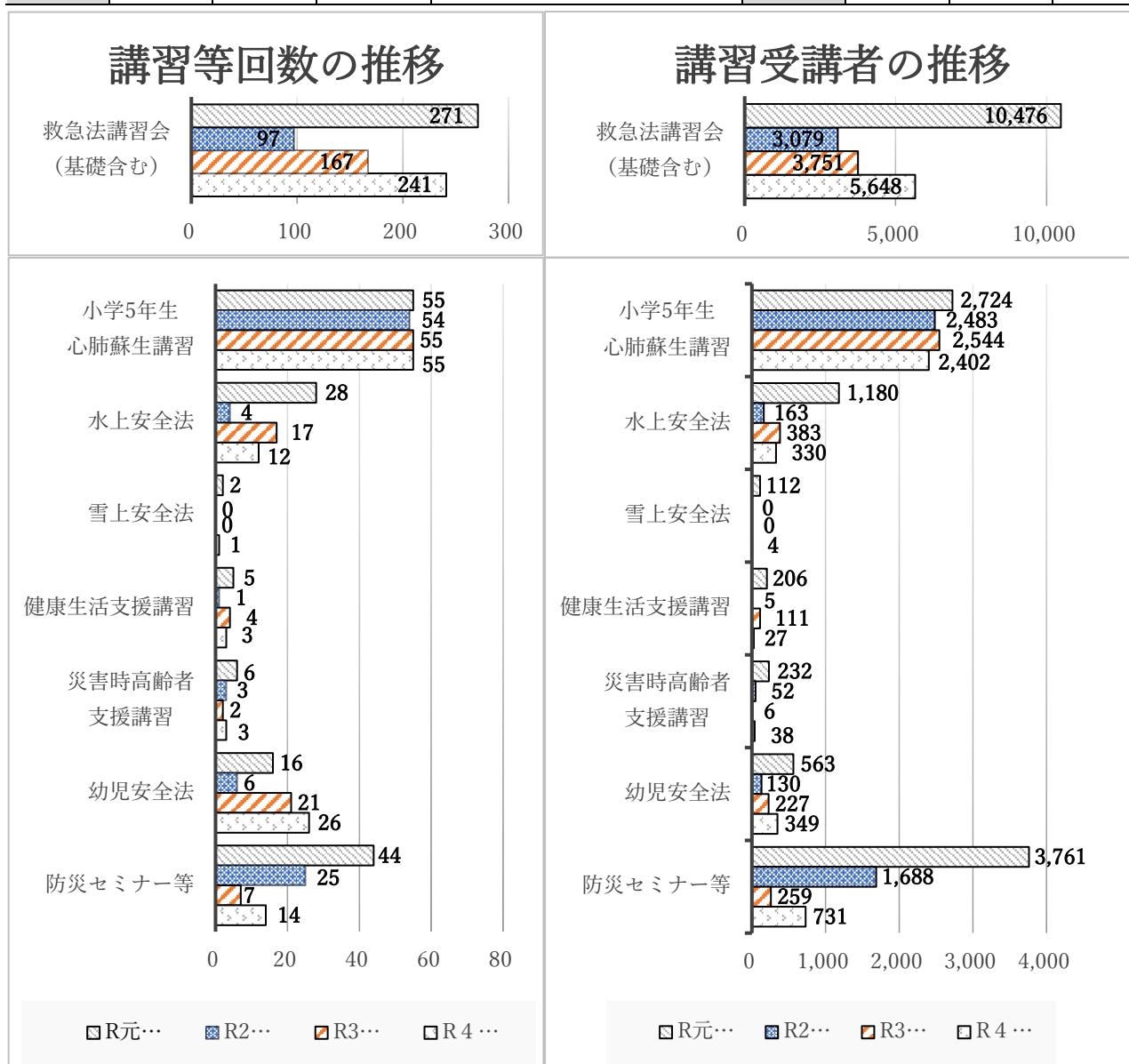
また、高知市教育委員会からの委託事業として、高知市内の全小学校5年生を対象に心肺蘇生講習を実施した。

(2) 赤十字救急法等指導員養成講習

新型コロナウイルス感染症対策として、対象を赤十字職員、救急員養成講習の開催実績がある協定締結地域の社協職員、警察関係者に限定し、赤十字救急法指導員養成講習を開催した。

受講者7名で実施し、全員合格した。今後、県内における赤十字救急法講習普及への積極的な参加が期待されている。

(講習等回数)					(受講者数)				
R4年度	R3 年度	R2 年度	R 元年度	講習名	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R 元年度	
241	167	97	271	救急法講習会(基礎含む)	5,648	3,751	3,079	10,476	
55	55	54	55	小学 5 年生心肺蘇生講習	2,402	2,544	2,483	2,724	
12	17	4	28	水上安全法	330	383	163	1,180	
1	0	0	2	雪上安全法	4	0	0	112	
3	4	1	5	健康生活支援講習	27	111	5	206	
3	2	3	6	災害時高齢者支援講習	38	6	52	232	
26	21	6	16	幼児安全法	349	227	130	563	
14	7	25	44	防災セミナー等	731	259	1,688	3,761	
355	273	190	427	合計	9,529	7,281	7,600	19,254	



3. 青少年赤十字事業

(1) 活動概要

① 県全体の活動

日 程	事業名	内 容
4/23（土）	赤十字運動 月間啓発パレード	県内 JRC 加盟高等学校のうち 2 校から、JRC メンバー38 名・指導者 1 名が参加 赤十字の活動を PR するために帯屋町でパレード、中央公園にて街頭募金活動を行った。
6/11（土）	高知県青少年赤十字高等学校連合会総会	県内 JRC 加盟高等学校 3 校（土佐高校・土佐女子高校・明徳義塾高校）と未加盟校 1 校（土佐塾高校）から合計 17 名、指導者 2 名が参加。 開催内容は以下のとおり。 ○令和 4 年度役員選出 ○各学校における取組み紹介・意見交換 ○アイスブレイク（竹ひごタワー） ○グループワーク「赤十字をもっと知つてもらうために、高校生ができることは何か」
7/29（金）～ 7/31（日）	高知県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	感染対策を徹底し、国立室戸青少年自然の家で 3 年ぶりに開催。県内 JRC 加盟校から小学生 4 名、中学生 7 名、高校生 10 名の JRC メンバーと指導者、スタッフ 12 名が参加。楽しい雰囲気の中、アイスブレーキングや貿易ゲーム、フィールドワークなどを実施し、「気づき、考え、実行する」という主体性を身に着けられるよう取り組んだ。
12/4（日）	NHK 海外たすけあい街頭募金活動	県内 JRC 加盟中学高等学校 3 校（国際中・土佐高・土佐女子高）から JRC メンバー29 名、指導者 3 名のほか奉仕団員 15 名が参加。世界各地で多発する自然災害や武力紛争等による犠牲者の緊急支援事業等を実施するための街頭募金を帯屋町などで実施した。 募金額：40,993 円
2/11（土）	青少年赤十字 100 周年記念高知県青少年赤十字研究大会	県内 JRC 加盟高等学校 4 校（小津高・土佐中高・土佐女子高・明徳義塾高）と、未加盟校 2 校（佐賀中・岡豊高）から合計 27 名、県教委 1 名、指導者 8 名、奉仕団員 6 名が参加。各校の活動発表や講演を通して、高知県内の学校間の交流や青少年赤十字への理解を深めた。 内容は以下のとおり。 ○土佐女子高「私たちの活動」 ○佐賀中「かかりがましい防災」 ～日本一の防災を目指して～ ○明徳義塾高「明徳と防災」 ○小津高「正しい救急法をして命を繋ごう」 ○土佐中高「インタークト部の取り組み」 ○講演「ウクライナ人道危機から考える国際人道法」 講師：本社 青少年・ボランティア課主事



3年ぶりに開催されたリーダーシップ・トレーニング・センター



NHK 海外たすけあい街頭募金



青少年赤十字 100 周年記念 高知県青少年赤十字研究大会

② 本社主催事業への参加

日 程	事業名	内 容
1部： 10/2（日） 2部： 11/5（土） オンライン開催	青少年赤十字創設 100 周年記念国際交流事業	1部に土佐高からメンバー3名と指導者1名、2部に土佐高・土佐女子校からメンバー6名、指導者1名が参加。国際理解・親善を目的として開催され、「気候変動～未来と世界をまもる行動をともに～」をテーマに全国、世界から集まったJRCメンバーとオンラインで交流した。
1部： 3/21（火） オンライン 2部： 3/25（土） 現地参集	青少年赤十字スタディー・プログラム	高等学校の青少年赤十字活動の中心となるリーダーを養成することを目的として、例年開催されている青少年赤十字スタディー・センターの代替事業として実施された。 1部のオンライン開催に土佐高からJRCメンバー3名（オブザーバー2名含む）が支部から参加、2部は本社に集合して開催され、土佐高から1部に参加したメンバー1名と指導者1名が参加した。



青少年赤十字創設 100 周年記念国際交流事業



青少年赤十字スタディー・プログラム

(2) 加盟校概要

① 青少年赤十字への加盟状況 (単位:校)

※ 加盟校一覧マップ次頁

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
高等学校	18	22	20	21	22
中学校	26	29	27	26	28
小学校	63	67	47	59	57
幼・保	9	9	5	7	7
特別支援	12	12	11	11	13
合 計	128	139	110	124	127

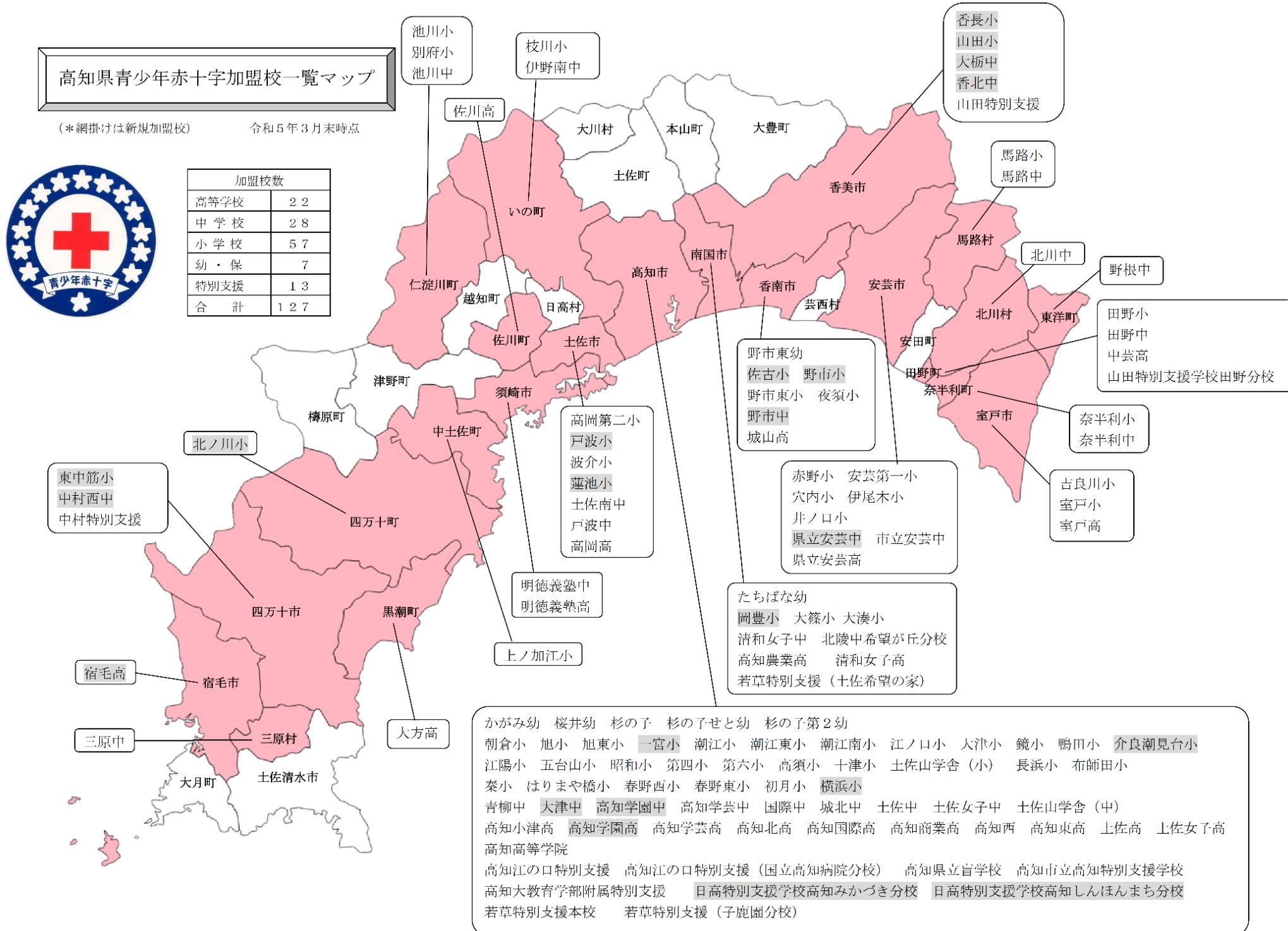
② 各校の活動(抜粋)

J R C 加盟校には支部職員や安全奉仕団指導員を講師として派遣し、感染対策に留意しつつ様々な活動が行われた。

救急法	心肺蘇生や AED の使い方を学ぶ講習を実技・座学を交えて実施した。
水上安全法講習	水の事故からいのちを守る対処法などについての座学を実施した。
防災学習	過去の大規模災害における日本赤十字社の救護活動等について伝えるとともに、南海トラフ地震等の災害に備える知識を身につける座学を実施。また、HUG (避難所運営ゲーム) を高知県内の中学校 2 校で行った。
平和学習	国際人道法普及などを目的として、世界の紛争地域の子どもたちが少年兵や地雷被害などで苦しんでいる現状への理解を深める講習を実施した。
新型コロナウイルスについての学習	「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう！」を用いた講習を実施。新型コロナウイルスがもつ「病気」「不安」「差別」という 3 つの顔について理解し、更なる感染を防ぐために一人ひとりができることについて、現状を交えて講習を行った。

③ 青少年赤十字加盟校で行った各種講習会等 (単位:回)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
救急法	88	99	55	74	94
水上安全法	20	19	3	9	4
雪上安全法	2	1	0	0	0
幼児安全法	7	6	0	3	4
防災学習	24	27	13	8	6
平和学習	2	6	4	1	3
新型コロナウイルスについての学習	—	—	4	2	1
登録式など	4	2	0	0	3
合 計	147	160	79	97	115



(3) 指導者対象の協議会、研修

○ 高知県青少年赤十字指導者協議会および高知県青少年赤十字賛助奉仕団活動

日 程	講習会・研修会名	内容
6/16（木） 13：00～14：00	高知県青少年赤十字 賛助奉仕団総会	高知県青少年赤十字賛助奉仕団 5 名が出席し、役員改選や令和 3 年度の事業報告、令和 4 年度の事業予定や取り組みについて協議した。
6/16（木） 14：30～15：30	高知県青少年赤十字 指導者協議会	高知県青少年赤十字指導者 2 名と賛助奉仕団から 3 名が参加し、以下の協議を行った。なお、令和 4 年度は総会に加え研究協議会も開催した。 (総会) ・役員改選 ※各役員については 別表1・2 のとおり ・令和 3 年度青少年赤十字活動実績報告 ・令和 4 年度青少年赤十字事業計画 (研究協議会) ・「青少年赤十字について～100 周年記念事業としての取り組み」 ・協議「各学校における青少年赤十字活動について」
6/29（水）	青少年赤十字全国指 導者協議会総会・研 修会	本社主催。各都道府県の指導者協議会長が一堂に会し青少年赤十字活動の普及等について意見交換を行う。 オンラインでの開催となり、本県から指導者協議会副会長が所属校から出席した。
7/13（水） 14（木）	全国青少年赤十字賛 助奉仕団協議会総会	本社主催。各都道府県の賛助奉仕団委員長が一堂に会し、指導者協議会との連携や赤十字思想の普及と防災教育の充実などについて意見を交換する。 本県はコロナの感染状況を鑑み欠席した。
10/28（金） 10/29（土）	中国・四国ブロック 青少年赤十字賛助奉 仕団連絡協議会・研 修会	広島県が担当で集合型により開催。中国・四国ブロック各県における活動や課題について協議を行い、交流を深めた。本県から委員長が参加。
11/10（木） 11/11（金）	第 5 ブロック各県青 少年赤十字指導者協 議会長ならびに事務 担当者会議	鳥取県が担当で集合型とオンラインのハイブリッドで開催。第 5 ブロック（中国・四国ブロック）における青少年赤十字の普及と充実強化を図るため、各県から提出された青少年赤十字に関する議題について意見交換が行われた。 本県は指導者協議会長が欠席となり、事務担当者のみオンラインで参加した。
※休止	青少年赤十字研究会	本社主催。青少年赤十字を的確に理解し、現在の学校教育における青少年赤十字の現状と成果について認識するため、講演の聴講やグループワークを行う。令和 4 年度は青少年赤十字 100 周年記念イベント開催のため休止。
※休止	青少年赤十字リーダーシップ・トレニ ング・センター指導者養成講習会	本社主催。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者を養成することと、現在、青少年赤十字で取り組んでいるプログラムについて説明し、一層の普及を図ることを目的として開催。令和 4 年度は青少年赤十字 100 周年記念イベント開催のため休止。

別表1 4年度 指導者協議会 役員

会長	高知市立潮江小学校 校長 藤川 尚司
副会長	高知市立高知特別支援学校 教諭 波多野 拓有
"	高知県立高知北高等学校 校長 山下 英雄

別表2 令和4年度 賛助奉仕団 役員

委員長	池田 敏雄
副委員長	井脇 伸往
"	安藤 厚子

4. 國際活動

(1) 国際救援・開発協力事業

中国・四国9県の赤十字支部の国際救援活動として、「アジア・大洋州給水・衛生キット事業」に700万円の資金援助を行い高知県支部から543,572円を拠出。



キット：浄水ユニット、タンク、浄水剤、水質検査キット、簡易トイレ設置用資材、衛生教育用資材など

(2) NHK海外たすけあい

世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国、災害常襲地への開発協力などを実施するため、12月にNHKの協力のもと「第40回海外たすけあい寄付金募集」キャンペーンを行い、以下の協力を受け付けた。

○ 募集実績額

	取扱件数	実 績 額
高知県支部実績分	795件	4,264,939円
全国受付分 (高知県支部を含む)	83,816件	787,088,711円

5. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

○奉仕団結成状況（令和5年4月時点）		
種別	団数	団員数
地域奉仕団	31	3,861名
特殊奉仕団	12	279名
青年奉仕団	2	12名
合計	45	4,152名



(1) 地域奉仕団

1) 活動資金募集

新型コロナ禍の中、5月の赤十字月間に限らず、各市町村の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて時期を変えて奉仕団員が地域内の家庭や企業等を訪問するなど、赤十字活動への理解と赤十字の活動資金の増強に向けて取り組んだ。

2) 献血活動

献血の推進を図るため、高知県支部では、奉仕団県支部委員会を通じて、献血推進に取り組むこととし、

- ・各地の献血会場で奉仕団員が献血の呼びかけ等の実施。
- ・JRC活動の推進の中で教育関係者に献血の大切さなどを理解していただく。
- ・地域での奉仕団研修に献血推進の研修の場を持つ。

県内各地での活動資金目標額設定会議等を通じて献血推進への協力を呼び掛けた。



献血推進キャラクター
「けんけつちゃん」

3) 奉仕団の各種会議、研修会、訓練

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮したうえで、主要会議、奉仕団研修会および訓練での炊き出し参加を再開した。一部奉仕団関連の研修会については、8月中旬からの新型コロナ感染症第7波の影響により、オンライン開催に変更となったものもあったが、その他全国的な会議・研修会については、積極的に参加した。

令和4年度の主な会議、研修会の開催状況は以下のとおり。

① 会議関係

開催日	名称（開催場所）	内容
5月30日(月) 31日(火)	赤十字奉仕団中央委員会 (東京本社) 高知県支部はオンラインで出席	本社主催、全国の奉仕団活動状況の情報共有となる会で、4年度テーマは「一人ひとりのいのちと健康、尊厳を守るためにより良い地域作り」。
9月27日(火)	中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会 (高知県支部多目的室) オンラインで開催	県支部主催、9県の県支部委員会委員長らが参加し、各県での懸念事項等について協議した。 (詳細は下記アに記す。)
12月16日(金)	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会合 同役員会 (総合あんしんセンター3階中会議室)	当該年度の活動の総括及び次年度活動方針(案)について
3月8日(水)	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会總 会 (総合あんしんセンター3階大会議室)	当該年度の活動の総括及び次年度活動方針について協議。 (詳細は下記イに記す。)

ア. 中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会

開催日	令和4年9月27日(火)
会場	高知市総合あんしんセンター1階 高知県支部多目的室
対象者	各県赤十字奉仕団県支部委員会委員長及び担当職員
参加者数	22名(内、高知県支部からは7名が出席)
議題内容	メインテーマ：「赤十字奉仕団の活性化について」 議題1：コロナ禍またはコロナ後の県内奉仕団間の交流および連携について 議題2：後継者づくり及び地域住民への赤十字の理解の浸透・普及について 議題3：地域包括ケア事業への赤十字奉仕団の取り組み状況について

イ. 赤十字奉仕団高知県支部委員会及び高知県赤十字奉仕団活動推進協議会總会

開催日	令和5年3月8日(水)
会場	高知市総合あんしんセンター3階大会議室
対象者	赤十字奉仕団高知県支部委員会 委員 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 会員 地区分区事務担当者(任意)
参加者数	40名
議題内容	(1) 令和4年度奉仕団に関する活動報告について (2) 令和5年度奉仕団に関する活動予定について (3) その他 高知県支部からの報告についてなど (4) 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 役員改選について

② 行事・研修会関係

開催日	名称（開催場所）	内容
4月 23 日（土）	赤十字運動月間啓発パレード (正庁ホール、帯屋町アーケード)	5月の赤十字運動月間に向けたパレードを実施。土佐女子中学・高校のバトン部及び吹奏楽部の先導により、JRC メンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議会、賛助奉仕団、地域奉仕団、青年奉仕団、他赤十字関係者約 200 名が帯屋町をパレードした。
5月 19 日（木）	全国赤十字大会 (東京明治神宮会館)	参会者：奉仕団 1名、サポーター登録企業 3社、日赤職員及び役員 3名
5月 28 日（土）	高知県総合防災訓練 防災フェスティバル (四万十市不破)	防災フェスティバル内のブースにて、安全赤十字奉仕団による救急法の体験コーナーと地域奉仕団によるハイゼックスと大釜を使った炊き出しを実施。出来上がったおにぎりは、密封の状態で来場者へ配布した。 参加者：幡多ブロックの地域奉仕団 12 名及び事務担当者 4名、安全赤十字奉仕団 2名
9月 29 日（木）	赤十字奉仕団活動推進 協議会主催の研修会 (高知県支部多目的室)	コロナの影響により参集型からオンライン開催へ変更。令和 4 年度奉仕団基礎研修の実施方法についてオンラインで説明会を実施。詳細は下記アに記す。 参加者：奉仕団等 19 名、事務局担当者 5名
10~11 月の 計 6 回	高知県赤十字奉仕団ブロック別研修会 (各ブロック会場)	県内 6 ブロックで実施。赤十字の基本原則を基に標語を作成する内容で実施。安芸市赤十字奉仕団の日頃の活動発表も行った。詳細は下記イに記す。 参加者：延べ 164 名の地区分区赤十字奉仕団等が参加し、奉仕団同士の交流の場ともなった。
12月 1 日（木） ～2 日（金）	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会 (香川県社会福祉総合センター 7 階第一中会議室)	香川県支部主催で高松市で開催。地域奉仕団を対象とした基礎研修会。 参加者：4 名（高知市地区、香美市地区、芸西村分区、大月町分区）
1月 28 日（土） ～30 日（月）	赤十字ボランティア・リーダー研修会 (東京本社 201 会議室)	8月開催より延期、東京本社で開催。基礎研修会受講済みの奉仕団を対象としたリーダー研修会。 参加者：地域奉 1 名（高知市地区南街分区）
1月 28 日（土） ～30 日（月）	赤十字奉仕団支部指導 講師研修会 (東京本社 101 会議室)	東京本社で開催。指導講師に関する研修会。 参加者：指導講師候補者から 1 名に参加いただく予定であったが、希望者がおらず参加なし。

ア. 赤十字奉仕団活動推進協議会主催の研修会（オンライン開催に変更）

開催日	令和4年9月29日(木) 13:40~14:40
会場	高知市総合あんしんセンター1階 高知県支部多目的室
対象者	赤十字奉仕団高知県支部委員会 委員、高知県赤十字奉仕団活動推進協議会会員 地区分区事務担当者（任意）
参加者数	24名（奉仕団等19名、事務局担当者5名）
講師・内容等	講師：高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 会長 安藤厚子 内容： 1. 各種報告事項 （1）新役員紹介 （2）指導講師委嘱状授与 宿毛市赤十字奉仕団委員長 高倉 真弓 2. 赤十字奉仕団員信条 唱和 3. 研修会 テーマ：「赤十字について自ら語れるようになります」 目的：赤十字研修会の実施方法を学ぶことを通して、正しく理解を深め、正しく人に伝えられるようになる。 内容：教える側のノウハウを学び、実践練習を行い、秋のブロック別研修会で実際に進行役を務めるための知識・技術を習得する。

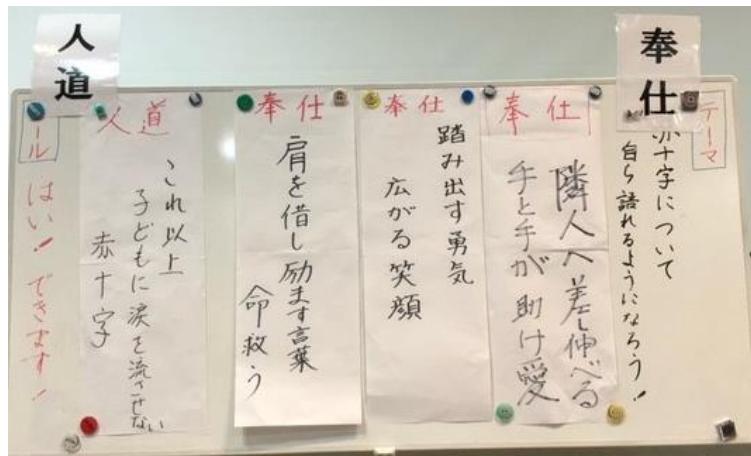
イ. 高知県赤十字奉仕団ブロック別研修会

上記アの9月29日（木）の研修会出席者が進行補助者となり、県内6ブロックで研修会を実施した。コロナ感染防止対策のため人数制限を設けたものの令和元年度以来3年ぶりの開催となった。開催結果は下記のとおり。新たな内容として、後半に安芸市赤十字奉仕団の活動発表を取り入れた。

開催日	10~11月の計6回 別表のとおり
会場	別表のとおり
対象者	各ブロック内の奉仕団等の赤十字関係者 地区分区事務担当者（任意）
参加者数	延べ164名（うち、地区分区事務担当者18名）
講師・内容等	講師：支部指導講師 戸梶恵子、安藤厚子、江村加代、安岡由美子 テーマ：「赤十字について自ら語れるようになります」 ① 「赤十字ボランティア活動ブックレット」をグループで音読 ② 「赤十字の基本原則を使って標語をつくろう」グループワーク ③ 安芸市赤十字奉仕団の活動発表 (発表者：安芸市赤十字奉仕団委員長 安岡由美子)

(別表) 開催順

ブロック名	開催日	会場	参加者
高知市ブロック ※高知市地区主催「赤十字のつどい」と合同で開催	10月1日(土) 13:00~16:00	高知市総合あんしんセンター 3階大会議室	1地区 25名
安芸ブロック	10月5日(水) 14:00~16:30	奈半利町町民会館	1地区6分区 21名
中央東ブロック	10月18日(火) 14:00~16:30	南国市保健福祉センター 多目的ホール	3地区3分区 34名
中央西ブロック	11月8日(火) 13:30~16:00	いの町役場1Fいのホール	1地区4分区 32名
高幡ブロック	10月4日(火) 14:00~16:30	須崎市立文化会館	4分区 20名
幡多ブロック	10月24日(月) 13:30~16:00	四万十市文化センター 大会議室	3地区3分区 32名



【高知県赤十字奉仕団ブロック別研修会において発表された標語の一例】



【会場内に設置された安芸市赤十字奉仕団による展示物：手作りマスクや古新聞を利用した汚物入れなどを手に取る参加者】



【指導講師の安藤会長と意見を交わす参加者】



4) その他

① 一日赤十字事業（奉仕団主催）

地域での奉仕団活動をはじめ安心・安全に活動を活発に行うため、地区分區等と共同で応急手当の講習など赤十字に関する研修会、避難所運営ゲーム（HUG）など地域防災にかかる研修会、防災訓練等での炊き出し指導等、救急法等短期講習、治療奉仕、各種講演（防災・医学・献血など）事業に取り組んでいる。



【須崎市地区での治療奉仕の様子：盲学校の先生と生徒さんにご協力いただき地域住民へ無料でマッサージを施術する事業。香美市と須崎市の2地区で開催しており、今年度はコロナ感染対策に十分に配慮した上で実施した。】

② 各地域での奉仕団活動について

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により活動内容が制限されるなか、感染対策に留意しながら地域ニーズに沿って地域の高齢者への配食サービスや高齢者福祉や地域づくりの活動、炊き出しに関する研修会の開催などの防災・減災力を高める活動等を行った。

香南市地区では、8月8日、子どもたちに地域の防災を担う存在になってもらおうと香南市および社協主催で「市こどもボランティア隊」を招いた防災キャンプに香南市赤十字奉仕団も参加し、起震車体験、消防訓練体験、防災運動会などが行われ、奉仕団からは、子どもたちにハイゼックス炊飯やラップを使った食器を汚さないための工夫を体験してもらったり、赤十字活動に関するお話をした。この防災キャンプを通して、地域には様々な状況と思いを持った人がいることを知つてもらうとともに、災害時には地域で助け合い支え合うことの大切さを子どもたちに学んでいただいた。



【ハイゼックス（炊飯袋）の使い方を子どもたちに教える地域奉仕団】

また、香美市芸術祭、香南市ふれあいまつり、本山町産業文化祭、土佐市防災＆健康フェスティバルなど各地域のイベントにおいて、各地区分区事務局には、赤十字紹介パネルの掲示や募金箱設置にもご協力いただいた。

(2) 特殊奉仕団

3年ぶりに赤十字特殊奉仕団総会を参考集型で開催し、令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動予定について協議を行い併せて各団の活動実績をご報告いただいた。

開催日	名称（開催場所）	内容
10月21日（金）	赤十字特殊奉仕団総会 (高知県支部多目的室)	令和4年度の活動報告及び令和5年度の活動予定について 各団の活動実績をご報告について

(3) 青年奉仕団

社会人・高知工科大学メンバー9名と、高知大学の学生赤十字奉仕団（以下「学奉」という。）メンバー3名で活動している。活動内容として、支部主催行事への参加・運営協力など下記のとおり。

また、メンバー募集や活動情報発信の手段としてTwitterを活用している。（右写真）



日 時	活動名	内 容
4月23日（土）	赤十字運動月間啓発パレード	5月の赤十字運動月間に向けたパレードを実施。土佐女子中学・高校のバトン部及び吹奏楽部の先導により、JRCメンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議会、賛助奉仕団、地域奉仕団、青年奉仕団、他赤十字関係者約200名が帶屋町をパレードした。
11月19日（土） 11月20日（日）	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	今後の活動に活かせる知識と技術を習得し、団員の資質の向上を図ることを目的とする。令和4年度は赤十字やボランティアへの理解を深め、今後の活動計画の作成等を行い、相互の親睦をはかった。
12月4日（日）	NHK海外たすけあい街頭募金	気候変動や長引くコロナ禍、ウクライナ人道危機など、世界各地の人道危機から誰も取り残さないよう、地域に根差した支援を届け続けることを目的とした街頭募金を実施。JRCメンバーや他奉仕団と一緒に行った。

6. 赤十字思想の普及・広報活動

赤十字の活動への理解を深めるため、広報紙の発行やホームページによる広報活動をはじめ、県内各地で開催される赤十字講習会等を通じて、「県民の目に見える活動」の推進に取り組んだ。

(1) 赤十字月間、イベント

平成 28 年より始めた赤十字月間に合わせた赤十字運動月間啓発パレードについては、新型コロナウイルス感染対策として規模を縮小して実施した。

運動月間中は本社提供のテレビ・ラジオ CM による広報を拡大したほか、例年通り各市町村でのポスター掲示、支部広報誌「ふれあい」、チラシの各戸配布などによる広報を行った。

また、赤十字運動月間の 5 月に高知城下の高知県庁、高知市役所前のお堀沿いに啓発用の登旗を 1 カ月間設置した。



(2) DM、広報誌

DM は対象別に年 3 回、約 8,600 通の発送を行った。

1 度目は従来の協力者に引き続きの協力を依頼するため、5 月の赤十字運動月間に中心に各地区・分区の協力を得ながら約 4,500 通を発送した。2 度目は新規協力者の獲得を目的とし、過去に義援金や海外たすけあいなど赤十字を通じた寄付の経験者を主な対象として 12 月に約 1,600 通を発送した。3 度目は本社から提供された法人データを活用し新規協力者を募ること、当該年度内に DM を送付したもの未協力であった協力者に再依頼することを目的として、約 2,500 通の発送を行った。

支部広報紙「ふれあい」は 4 月に 28,800 部（前年 26,200 部）、10 月に 18,550 部（前年 15,700 部）を作成し地区・分区を通じて地域住民に配布したほか、赤十字会員、地域奉仕団、講習会の参加者、献血協力者、管内施設利用者などに配布した。

また、会員への定期的かつ積極的な情報提供強化のため、令和 2 年 12 月から本社が作成する全国統一会員誌の活用を開始しており、令和 4 年度も 7 月と 12 月に同会員誌による情報提供を県内会員に対し行った。

(3) 赤十字思想の普及

令和 3 年 4 月から本社 WEB サイトと統一デザインの新規 WEB サイトの運用を開始した。県内の赤十字活動に関する投稿の他、国内外における災害時の速報等全国的な赤十字活動を支部 WEB サイトに掲載することで、事業を通じ閲覧者の赤十字思想への理解が深まることを目指している。

7. 会員、活動資金

(1) 会員概要

○ 令和4年度赤十字会員数 (令和3年度までは各地区分区からの報告に基づく会員数)

	個人	法人	合計
平成30年度 (年度末実績)	1, 720	972	2, 692
令和元年度 (年度末実績)	1, 751	724	2, 475
令和2年度 (年度末実績)	1, 385	692	2, 077
令和3年度 (年度末実績)	1, 122	602	1, 724
令和4年度 (年度末実績)	1, 179	1, 478	2, 657

※令和4年度から会員システムを導入

(2) 活動資金募集状況

昨年度との比較では、活動資金の合計が3年度の実績額8,676万円程に対して、4年度実績額は9,284万円程と608万円程の増加となつた。

しかしながら、100万円以上の高額寄付が2件210万円と病院指定寄付が2件530万円あり、この特殊要因の740万円を除くと、ほぼ前年度並みの状況で依然として厳しい状況が続いている。

個人・法人の別では、個人からの活動資金は、3年度の実績額6,879万円程に対して、4年度実績額は7,325万円程と445万円程増加しているが、この中に病院指定寄付500万円が含まれているため、実質的には55万円程減少している。一方、法人からの活動資金は、3年度の実績額1,796万円程に対して、4年度実績額は1,956万円程で病院指定寄付の30万円を除いても132万円程増加した。

○ 令和4年度活動資金実績

	個人	法人	合計
平成30年度	69, 918, 106円	18, 038, 679円	87, 956, 785円
令和元年度	71, 042, 088円	28, 736, 250円	99, 778, 338円
令和2年度	74, 339, 902円	17, 284, 794円	91, 624, 696円
令和3年度	68, 798, 749円	17, 967, 886円	86, 766, 635円
令和4年度	73, 251, 810円	19, 596, 330円	92, 848, 140円

(※ 地区分別の実績は34頁)

(※ 指定、高額寄付を含む)

(3) 活動資金目標額設定会議

16地区中15地区で参集型にて開催され、令和4年度各地区分区別の活動資金目標額を設定いただいた。

参集型で開催された地区の目標額設定会議には支部職員も出席し、目標額の設定だけでなく募集協力者に対し赤十字活動の報告及び活動資金への協力依頼を行つた。

(4) 日赤市地区・町村分区事務担当者会

令和3年度と同様、Microsoft TeamsによるWEB会議として令和4年4月11日及び12日の2回に分けて開催し、16市町村の赤十字事務担当者が出席した。

各地域においてより一層地域ニーズに合った赤十字事業を展開するため、赤十字に関する基礎的な知識・事務を伝達した。

(5) 企業等とのパートナーシップ

赤十字サポーター制度

「人のいのちと健康、尊厳を守る」活動を共に推進してくださる企業・団体のサポーターを求めて、また、赤十字と企業・団体の間における、社会貢献のためのパートナーシップを図ることを目的とし、活動資金の増額も含めて赤十字サポーター事業を推進している。令和4年度に新たに登録した個人・法人はなかった。

現在登録の法人、個人は以下のとおりである。

○ 赤十字サポーター 認定企業・団体・病院・個人一覧 R5/4/1 現在

企業・団体名	代表者	
	職	氏名
1 株式会社 四国銀行	取締役頭取	山元 文明
2 株式会社 高知銀行	取締役頭取	海治 勝彦
3 高知スタンダード石油株式会社	代表取締役	手嶋 邦彦
4 株式会社 垣内	代表取締役社長	垣内 大輔
5 高知空港ビル株式会社	代表取締役社長	岩城 孝章
6 医療法人尚志会 愛幸病院	理事長	西原 東香
7 株式会社 高知丸高	代表取締役社長	高野 一郎
8 一般社団法人 高知県建設業協会		
9 株式会社 轟組	代表取締役社長	吉村 文次
10 サンピア セリーズ	代表取締役社長	吉村 文次
11 株式会社ビル環境衛生管理	代表取締役社長	細田 覚
12 須工ときわ株式会社	代表取締役社長	國藤 浩史
13 株式会社土居建設	代表取締役	土居 三平
14 株式会社ニッサン・コンサルティング	代表取締役	西口 昌宏
15 高知中央電気工事業協同組合	理事長	吉村 保利
16 公益社団法人 高知県薬剤師会	会長	西森 康夫
17 一般社団法人 高知県歯科医師会	会長	野村 和男
18 公益社団法人 高知県看護協会	会長	藤原 房子
19 四国開発株式会社	代表取締役社長	久米 慶典
個人	戸梶 恵子	松本 啓司
		西口 昌宏

令和4年11月15日、株式会社ビル環境衛生管理様よりコロナ対策として、「除菌クリーナー20本」と「除菌タオル120本」を寄贈していただいた。

(6) 日本赤十字社有功章等受章者及び支部長表彰者

令和4年10月13日、高知赤十字病院4階ホールにて、活動資金功労部門の社長感謝状及び金色有功章の伝達と、活動資金募集活動等への功労を称え、個人または各地区分区へ濱田支部長より表彰を行う式典が執り行われた。

1) 令和4年度日本赤十字社有功章等受章者

① 活動資金功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
社長感謝状	金色有功章受章後さらに50万円以上に達した都度個人・法人	社長感謝状（賞状）	個人2名 法人11社
金色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で50万円以上に達した個人・法人	個人：金色有功章（賞状）・章記 法人：金色有功章（楯式）	個人4名 法人4社
銀色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で20万円以上に達した個人・法人	銀色有功章（楯式）	個人8名 法人41社
支部長感謝状	活動資金が一時又は累計で10万円以上に達した個人・法人	支部長感謝状（賞状）	個人6名 法人46社
合計			個人20名 法人102社

② 役職功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰者数
金色有功章	勤続12年以上	個人3名 (地区長1名、分区長2名)
銀色有功章	勤続6年以上	個人2名 (分区長2名)

③ 献血功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰物品	表彰者数
金色有功章	献血回数100回以上	金色ガラス盃	個人27名
銀色有功章	献血回数70回以上	銀色ガラス盃	個人49名

2) 令和4年度支部長表彰受章者

- ① 活動資金募集奉仕勤続 10 年以上の個人（表彰状贈呈）

高知市地区 10 名、南国市地区 8 名、土佐清水市地区 1 名、奈半利町分区 1 名 以上 20 名

- ② 活動資金目標達成率 120% 以上の地区分区（表彰状贈呈）

（地区）対象なし

（分区）高知市（江ノ口、北街、布師田）室戸市（吉良川）安芸市（穴内、井ノ口、土居、江川、内原野、伊尾木、下山、畠山）香南市（香我美町、夜須町）南国市（上倉北部、上倉南部、岡豊、長岡東部、岩村、稻生、後免）安芸（田野町、馬路村）中央東（大豊町）以上 24 分区

- ③ 活動資金目標達成率 100% 以上の地区分区（感謝状贈呈）

（地区）安芸市地区 香南市地区 安芸地区 中央東地区 以上 4 地区

（分区）高知市（小高坂、高知街、五台山、御曇瀬）室戸市（羽根）安芸市（安芸、黒鳥、赤野、川北、栂ノ木）南国市（瓶岩、野田、日章、前浜、十市、三和）須崎市（新莊・安和）四万十市（富山、西土佐）宿毛市（橋上）土佐清水市（下ノ加江、下川口）安芸（奈半利町、安田町、北川村、芸西村）中央西（仁淀川町）中央東（本山町、大川村）高幡（津野町）幡多（三原村）以上 31 分区



【有功章等受章者】



【謝辞を述べる受章者代表】



【支部長表彰受章者】



(7) 全国赤十字大会（令和4年5月19日、明治神宮会館）

サポーター法人や奉仕団など5名の方に参会いただいた。また、日本赤十字社名誉総裁である皇后陛下雅子さまより赤十字の活動等に顕著な功績のあった個人や法人の代表者に赤十字有功章が授与され、高知県からはサポーター個人である西口昌宏様へ有功章が授与された。

8. 評議員会、有功会等

(1) 評議員会

- 1) 第一回評議員会は、令和4年6月3日に高知市総合あんしんセンターで開催され、令和3年度の事業報告及び歳入歳出決算について承認された。
- 2) 第二回評議員会は、令和5年2月20日に高知市総合あんしんセンターで開催され、令和5年度の事業計画（案）と歳入歳出予算（案）、監査委員の選出について承認された。

(2) 高知県赤十字有功会

1) 総会

- ・令和4年6月21日（火）、城西館で有功会員32名が出席し、全議案について承認された。
 - ① 令和3年度高知県赤十字有功会事業報告及び収支決算書について
 - ② 令和4年度高知県赤十字有功会事業計画（案）及び同収支予算（案）について
 - ③ 有功会会長表彰等基準（案）について
 - ④ ビデオ上映 「赤十字この1年 2021」
 - ⑤ 特別講演：感染症の基礎知識」（講師：高知県健康政策部長 家保英隆 氏）

2) 全国赤十字紹綴有功会長総会

- ・令和4年10月6日（木）14時から大阪市のANAクラウンプラザホテル大阪で行われ、高知県赤十字有功会副会長の西山彰一様にご出席していただいた。

3) 理事会

- ・令和5年2月28日（火）、総合あんしんセンター3階中会議室で開催し、下記のことについて承認及び協議がなされた。
 - ① 令和4年度事業経過報告及び収支決算（見込み）について
 - ② 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ③ その他協議事項
 - ・講演会の講師について
 - ・研修旅行について

4) 支援事業

支援対象	支援内容
高知県支部事務局	① 青少年赤十字事業に対して 300,000 円を助成
高知赤十字病院	② 患者図書ラウンジ用書籍を 58 冊 (98,215 円) を助成
高知県赤十字血液センター	③ 啓発用卓上カレンダーの製作費用として 100,000 円を助成



① 【青少年赤十字事業】

② 【患者用図書】

③ 【卓上カレンダー】

(3) アドバイザー会議

- 1) 第一回は、令和4年5月27日高知県支部多目的室にて、令和3年度の事業報告及び決算報告を基に支部を取り巻く環境の変化によりよく対応するため、取り組むべき方向性や課題等について検討がなされた。
- 2) 第二回は、令和5年2月6日高知県支部多目的室にて、令和4年度の事業経過報告及び決算見込、また令和5年度の事業計画（案）及び予算案について検討とともに、旧庁舎解体及び解体後の土地利用等について検討がなされた。

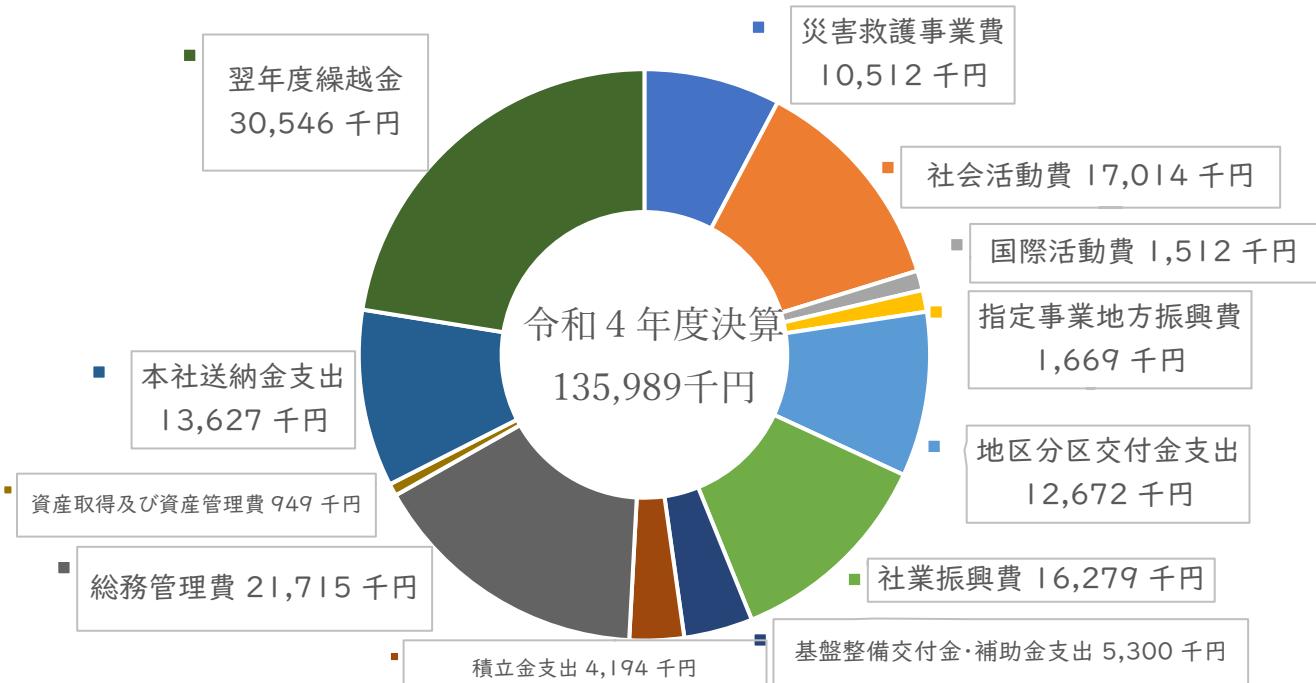
9. 決算概要

令和4年度 一般会計歳入歳出決算概算書

(単位：千円)

科目	令和4年度決算額	令和3年度決算額	対前年増減
活動資金収入	93,817	86,767	7,050
委託金等収入	2,612	255	2,357
補助金及び交付金収入	11,140	5,954	5,186
繰入金収入	1,575	1,044	531
雑収入	4,640	3,948	692
前年度繰越金	22,206	27,095	△4,889
歳入計	135,989	125,063	10,927
災害救護事業費	10,512	9,191	1,321
社会活動費	17,014	15,348	1,666
国際活動費	1,512	547	965
指定事業地方振興費	1,669	550	1,119
地区分区交付金支出	12,672	13,259	△587
社業振興費	16,279	12,880	3,399
基盤整備交付金・補助金支出	5,300	500	4,800
積立金支出	4,194	15,673	△11,479
総務管理費	21,715	19,556	2,159
資産取得及び資産管理費	949	2,615	△1,666
本社送納金支出	13,627	12,737	890
翌年度繰越金	30,546	22,206	8,340
歳出計	135,989	125,063	10,927

※千円未満を四捨五入しているため、歳出と歳入それぞれの各項目の合計額と表示している合計額は一致しないこと。



10. 資料

令和4年度 地区间別活動資金実績

(単位：円)

項目 地区区分名	目標額			令和4年度実績額				前年度比						令和3年度決算額			令和2年度決算額
	一般	法人	合計	一般	法人	合計	目標額達成率	一般	法人	合計	一般	法人	合計	一般	法人	合計	
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G) =(F)/(C)	(H) =(D)-(N)	(I)	(J) =(E)-(O)	(K)	(L) =(F)-(P)	(M)	(N)	(O)	(P)	(S)
高知市	35,469,000	6,342,000	41,811,000	18,228,948	7,156,576	25,385,524	60.7%	△ 620,612	96.7%	△ 490,541	93.6%	△ 1,111,153	95.8%	18,849,560	7,647,117	26,496,677	27,788,195
室戸市	1,867,000	186,000	2,053,000	1,224,500	265,500	1,490,000	72.6%	57,139	104.9%	17,500	107.1%	74,639	105.3%	1,167,361	248,000	1,415,361	2,133,357
安芸市	2,396,000	318,000	2,714,000	2,550,286	505,600	3,055,886	112.6%	△ 140,134	94.8%	△ 9,000	98.3%	△ 149,134	95.3%	2,690,420	514,600	3,205,020	3,674,150
香南市	3,817,000	215,000	4,032,000	3,898,906	402,500	4,301,406	106.7%	△ 121,094	97.0%	△ 15,000	96.4%	△ 136,094	96.9%	4,020,000	417,500	4,437,500	4,440,355
香美市	3,531,000	312,000	3,843,000	2,214,883	326,000	2,540,883	66.1%	△ 107,267	95.4%	△ 18,000	94.8%	△ 125,267	95.3%	2,322,150	344,000	2,666,150	2,520,550
南国市	5,515,000	885,000	6,400,000	5,182,576	598,000	5,780,576	90.3%	△ 197,961	96.3%	△ 101,896	85.4%	△ 299,857	95.1%	5,380,537	699,896	6,080,433	6,092,767
土佐市	3,393,000	423,000	3,816,000	2,610,444	95,000	2,705,444	70.9%	△ 59,792	97.8%	△ 24,481	79.5%	△ 84,273	97.0%	2,670,236	119,481	2,789,717	2,829,916
須崎市	2,703,000	408,000	3,111,000	2,431,100	447,000	2,878,100	92.5%	131,700	105.7%	△ 100,000	81.7%	31,700	101.1%	2,299,400	547,000	2,846,400	2,722,550
四万十市	4,271,000	705,000	4,976,000	2,571,120	394,544	2,965,664	59.6%	△ 194,330	93.0%	△ 37,456	91.3%	△ 231,786	92.8%	2,765,450	432,000	3,197,450	3,344,523
宿毛市	2,824,000	363,000	3,187,000	2,044,050	257,000	2,301,050	72.2%	37,680	101.0%	0	100.0%	37,680	101.7%	2,006,370	257,000	2,263,370	2,151,650
土佐清水市	2,182,000	180,000	2,362,000	1,434,640	140,000	1,574,640	66.7%	△ 41,445	97.2%	△ 20,000	87.5%	△ 61,445	96.2%	1,476,085	160,000	1,636,085	1,604,365
安芸【合計】	2,371,000	189,000	2,560,000	2,250,000	449,000	2,699,000	105.4%	△ 25,000	98.9%	10,000	102.3%	△ 15,000	99.4%	2,275,000	439,000	2,714,000	2,651,294
東洋町	376,000	36,000	412,000	205,000	0	205,000	49.8%	21,500	111.7%	0	-	21,500	111.7%	183,500	0	183,500	182,500
奈半利町	413,000	45,000	458,000	353,850	172,000	525,850	114.8%	△ 5,650	98.4%	△ 10,000	94.5%	△ 15,650	97.1%	359,500	182,000	541,500	531,838
田野町	393,000	21,000	414,000	378,450	112,000	490,450	118.5%	△ 24,550	93.9%	△ 10,000	91.8%	△ 34,550	93.4%	403,000	122,000	525,000	535,000
安田町	386,000	39,000	425,000	338,900	85,000	423,900	99.7%	△ 11,400	96.7%	0	100.0%	△ 11,400	97.4%	350,300	85,000	435,300	385,800
北川村	196,000	9,000	205,000	203,500	0	203,500	99.3%	△ 15,900	92.8%	0	-	△ 15,900	92.8%	219,400	0	219,400	226,000
馬路村	121,000	18,000	139,000	192,200	70,000	262,200	188.6%	△ 1,300	99.3%	30,000	175.0%	28,700	112.3%	193,500	40,000	233,500	213,600
芸西村	486,000	21,000	507,000	578,100	10,000	588,100	116.0%	12,300	102.2%	0	100.0%	12,300	102.1%	565,800	10,000	575,800	576,556
中央東【合計】	1,782,000	195,000	1,977,000	1,732,168	427,000	2,159,168	109.2%	△ 56,382	96.8%	12,000	102.9%	△ 44,382	98.0%	1,788,550	415,000	2,203,550	2,141,990
大豊町	673,500	66,000	739,500	763,200	96,000	859,200	116.2%	△ 26,800	96.6%	△ 8,000	92.3%	△ 34,800	96.1%	790,000	104,000	894,000	829,600
本山町	507,500	57,000	564,500	525,218	120,000	645,218	114.3%	△ 19,232	96.5%	△ 3,000	97.6%	△ 22,232	96.7%	544,450	123,000	667,450	652,900
土佐町	546,000	69,000	615,000	394,750	181,000	575,750	93.6%	△ 4,750	98.8%	18,000	111.0%	13,250	102.4%	399,500	163,000	562,500	576,290
大川村	55,000	3,000	58,000	49,000	30,000	79,000	136.2%	△ 5,600	89.7%	5,000	120.0%	△ 600	99.2%	54,600	25,000	79,600	83,200
中央西【合計】	7,397,000	666,000	8,063,000	5,563,773	75,000	5,638,773	69.9%	△ 250,745	95.7%	△ 16,000	82.4%	△ 266,745	95.5%	5,814,518	91,000	5,905,518	5,824,427
いの町	3,271,000	295,000	3,566,000	1,982,673	50,000	2,032,673	57.0%	△ 133,980	93.7%	△ 11,000	82.0%	△ 144,980	93.3%	2,116,653	61,000	2,177,653	2,169,876
仁淀川町	897,000	80,000	977,000	900,800	25,000	925,800	94.8%	△ 55,400	94.2%	△ 5,000	83.3%	△ 60,400	93.9%	956,200	30,000	986,200	948,401
佐川町	1,708,000	154,000	1,862,000	1,343,900	0	1,343,900	72.2%	△ 26,000	98.1%	0	-	△ 26,000	98.1%	1,369,900	0	1,369,900	1,352,850
越知町	822,000	74,000	896,000	754,400	0	754,400	84.2%	△ 22,565	97.1%	0	-	△ 22,565	97.1%	776,965	0	776,965	797,350
日高村	699,000	63,000	762,000	582,000	0	582,000	76.4%	△ 12,800	97.8%	0	-	△ 12,800	97.8%	594,800	0	594,800	555,950
高幡【合計】	4,823,000	318,000	5,141,000	3,964,300	20,000	3,984,300	77										